

養蚕の見透しについて

先づ今年は養蚕のあたり年である
と思ひます。何故なら一年始より
の生糸の取引価格が検討されれ
ば良く解ります。生糸の輸出先の
諸外国は日本の生糸の一六〇當り
の価格を三乃至三萬四位で輸
出してはしと長年を要望してあ
りましたが今年の生糸価格は正月以
来二〇万円から二万円の間に固
定された様になりこれに本當に得
意先の望む処までつため今後
は予想以上の輸出が期待されるよ
うになりました。と云ふこの生
糸価格から諸價を推察しますと平
年の戦で一六當り、五〇円から
一六〇〇円となり三〇〇の反収を
上げれば戰代四乃至五兩の收入
を得る事になります。

次に政府が輸出振興対策の強化を
図るようになった事です。即ち現
在政府は色々な面で予算を大幅に
けずり国の財政立直しに大膽にな
つて居りますが其の中に只一つ蚕
糸関係のみは昨年度予算を相当上
回る額をもつて居ります。特に
今年度は一億圓の生糸宣伝費をも
う今後には更に絹の優美さを全世
界に宣伝し絹の消費がぐんぐん増
加する事は確実であります。

御承知の通り現在はどこへ行つて
も宣伝の時代でありますが絹の過
去の宣伝は誠に幼稚でナイロン等
は過去絹に似た繊維であると大宣
伝をいたしまして一時絹の地位は
ナイロンによつて占領されたか
やうでもありますが今や今ではな

イロンのみの使用には米國でもあ
きてしまひて来たに絹の優美さが再
び浮び上つて来た解であります。
と申しますのはナイロン等が其の
ものはかりでは流行心が衰いため
絹との混織にして売出すようにな
つた事であります今後完全にこの混織
用に絹を供給するならば繭は現在
の生産量の二〇倍以上になしても
追付かぬ事と思ひます。

以上から云ふ生糸の価格即ち諸價を
安定したと云ふ事更に政府が輸出
振興対策の強化をはかり特に蚕糸
関係の予算を増加したと云ふ事等
により絹の消費が増大したと云う
事を申し上げましたがこの機会に
また一昨日も早く養蚕の復興をは
かり苦しい国の或は個々の経済を
立て直す御努力を乞ふ次第であ
ります。